

ワイキキが一望

オアフ島の人気ビューポイントの一つに「タンタラスの丘」がある。プウ・ウアラカア州立公園内に火山の噴火で隆起した天然のテラスがこの丘だ。ここからはワイキキビーチからダイヤモンドヘッド、更にはホノルルのダウンタウン、国際空港、これらを取り囲むかのように美しいエメラルドグリーンの海が一望できる。

ダイヤモンドヘッドもパンチボールも、ここから見れば火山のクレーターであったことがよく分かる。特に死火山パンチボールのクレーターの面積は 47 万平方メートル。1964（昭和 39）年に太平洋国立記念墓地がその中に造成された。現在は第二次世界大戦や朝鮮戦争などで亡くなった 33,000 人以上のアメリカ兵士が眠っている。そして年間 200 万人の観光客がこの地を訪れている。



こうしたビューポイントは世界どの地にもあるものだ。私が住む神戸の自慢ビューポイントは六甲山（標高 931m）。ここからの眺めは眼下に大阪湾を望み、それを取り囲むように神戸から大阪までの大都市が一望できる。夜ともなれば 1000 万ドルの夜景として、一大光のページェントが繰り広げられる。これらに連なる山々にはいたる所に展望台が設けられ、訪れる人に感動を与えている。

ここハワイの人口は 128 万人。その内の 75%がホノルルのあるオアフ島に住んでおり、アメリカがそうであるように、50 番目の州・ハワイでも多民族が協同で生活している。言葉も英語を始め、ハワイ語、日本語、中国語、韓国語、フィリピン語等が飛び交う。ここは世界の誰をも受け入れる、素晴らしいコミュニケーション地域社会が存在していた。 撮影 2010 年冬

